

新 3年連続 初戦突破

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒329-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00150-1-623433

07(発行) 2013

読者室 028-625-1179

(受付) 月～金 午前10時～午後6時

編集局 028-625-1121

販売部 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (専修)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは

0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
0120-810081

携帯、スマホで毎日のニュースを!!

下野新聞 SOON
月額262円

下野新聞 検索



作新-桜井(奈良)1回戦 1回表作新2死二塁、中村が先制の右越え適時二塁打を放つ。捕手・嶋田=10日午前、阪神甲子園球場

甲子園 桜井下す 15安打17得点

第95回全国高校野球選手権記念大会第3日は10日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で1回戦を行い、本県から史上初となる3年連続9度目の出場を果たした作新学院は、第2試合で初出場の桜井(奈良)と対戦し、17-5で圧勝、2回戦に駒を進めた。4強入りした一昨年、8強入りした昨年

▽1回戦		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
作新	203	104	106	17							
桜井	000	300	002	5							

(作) 渡辺、朝山-山下(桜) 竹野、加地-嶋田、植地▽本塁打 木下(桜)▽三塁打 小林、中村(作)▽二塁打 中村、小林2(作)

続く3年連続の初戦突破となった。作新は7盗塁と自慢の機動力も絡めて、相手のミスを着実に得点に結び付けるそののなさが光った。15安打で17得点、コンパクトで鋭いスイングで野手の間を抜く、つなぎの打撃も見事だった。初回、四球の小林勇介が捕逸で二進し、4番・中村幸一郎の右越え適時二塁打で先制。さらに江俣悠亮の内野ゴロが敵方を誘う間に、中村が本塁を陥れて1点を加えた。三回は小林の右越え三塁打を足掛かりに、相手投手のブークや川上修吾の右前適時打で3点を追加、完全に試合の主導権を握った。



快勝で1回戦を突破し、笑顔で応援席に向けて駆け出す作新ナイン=10日午後、阪神甲子園球場

先発の渡辺雄麻が四回、相手5番に3点本塁打を浴びたが、打線はさらに勢いを増して援護した。六回には山下勇斗、中村代打・玉川諒の3連続適時打で4点を追加。九回にも相手投手の制球難を突き、4安打で大量6点を奪った。

2番手の朝山広憲は六回を無失点。最終回に相手の反撃に遭い2点を許したが、最後は遊ゴロ併殺で切り抜けた。作新の次戦は大会第8日の15日、午前10時半開始予定の第2試合で熊本工(熊本)と2回戦を行う。作新・小針崇宏監督「初回2死から4番の中村(幸一郎)にタイムリーが出たことが大きかった。機動力も絡めて自分たちの戦い方ができた。四回に3点差に詰め寄られたが、引き締まった気持ちで後半に臨めた。つないでチャンスを広げる意識が15安打につながった」